

# 令和8年度〔2026年度〕 学校推薦型選抜

## 小論文問題

〈60分〉

### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等があった場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
3. 問題冊子は、どのページも切り離してはいけません。
4. 解答用紙には「受験番号」「氏名」を記入しなさい。
5. 解答は「解答用紙」に記入しなさい。

東京医療保健大学  
医療保健学部

## 問題1

厚生労働省が2024年に公表した統計データによると、がん（悪性新生物〈腫瘍〉）による死亡は38万2504人と、全死亡数の24.3%を占めていた。図1及び図2は、2023年の主な部位別のがん死亡数を男女別にまとめたものである。図を確認し、1)～3)を答えなさい。

- 1) 男性と女性の部位別がん死亡順位を第1位から第3位まであげなさい。その際、「その他」は含めません。次に、各順位の全体に占める割合を計算しなさい。小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで記入しなさい。
- 2) 図1及び図2の背景として考えられることを100字から150字で答えなさい。

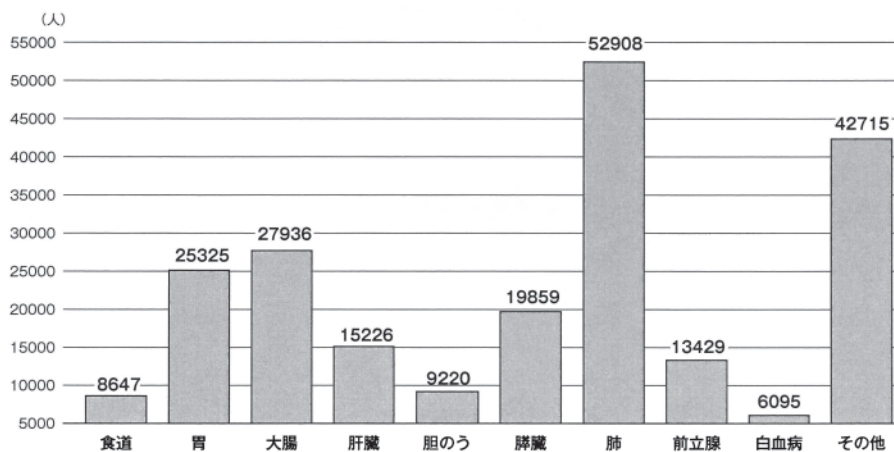


図1 主な部位別がん死亡数（男性）

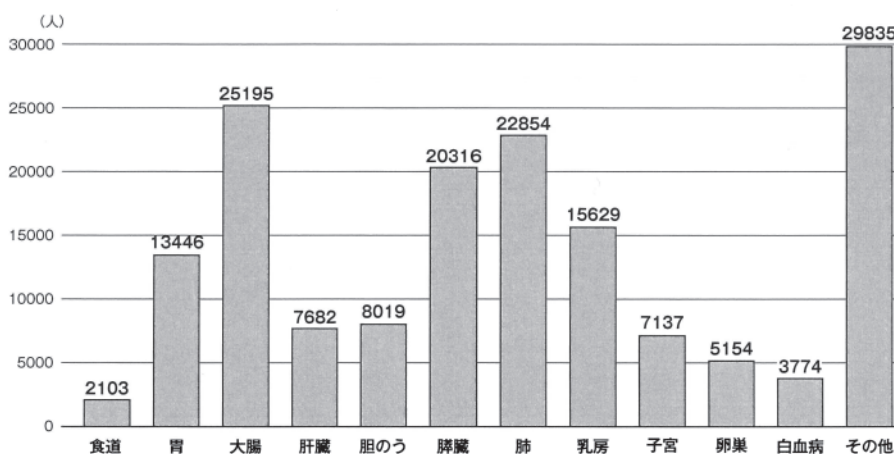


図2 主な部位別がん死亡数（女性）

出典：公益財団法人 日本対がん協会

[https://www.jcancer.jp/about\\_cancer\\_and\\_knowledge/%E3%81%8C%E3%82%93%E3%81%AE%E9%83%A8%E4%BD%8D%E5%88%A5%E7%B5%B1%E8%A8%88](https://www.jcancer.jp/about_cancer_and_knowledge/%E3%81%8C%E3%82%93%E3%81%AE%E9%83%A8%E4%BD%8D%E5%88%A5%E7%B5%B1%E8%A8%88)

3) 部位別がんのうち、子宮頸がんはヒトパピローマウイルス（HPV）感染が原因で、予防にはワクチン接種と検診が有効であることが広く知られている。しかしながら日本全国では、2019年に約10,879人、2021年には約10,690人の女性が子宮頸がんと診断されている。

図3は、わが国の子宮頸（けい）がんの罹患率\*を年代別に示したものである。原因と予防がわかっているにも関わらず、2019年以降も子宮頸がんの罹患数がほとんど減少していない理由について、100字から150字で述べなさい。

※子宮頸がんにかかった人の割合

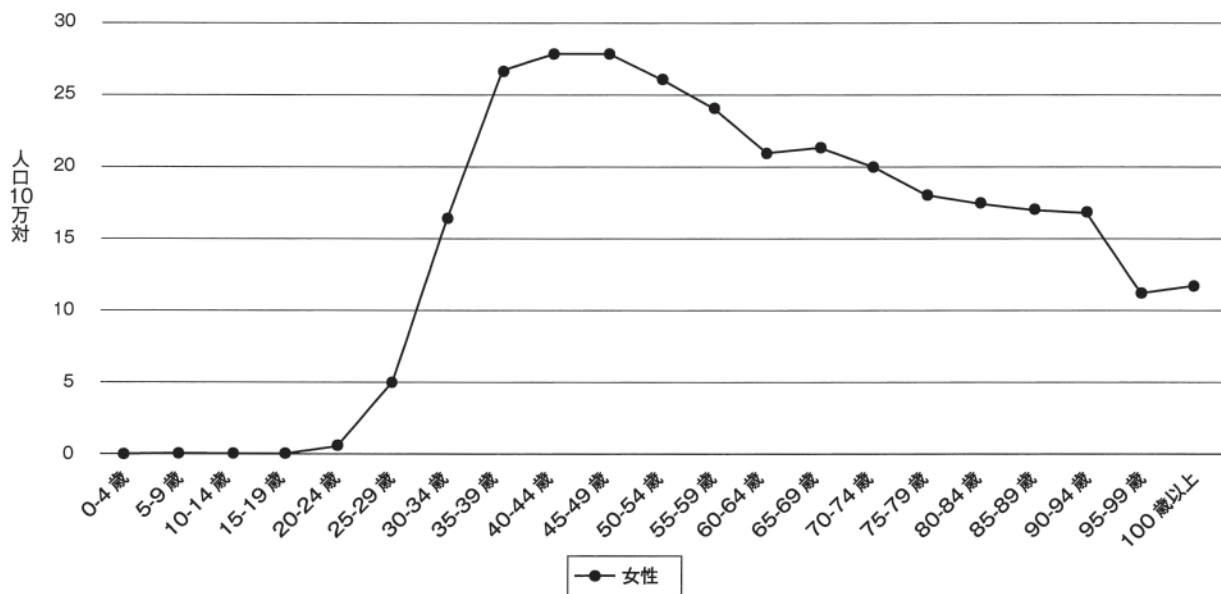


図3 子宮頸がんの罹患率（年齢階級別：2019年）

出典：国立がん研究センターがん情報サービス がん種別統計情報「子宮頸部」

[https://ganjoho.jp/reg\\_stat/statistics/stat/cancer/17\\_cervix\\_uteri.html](https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/cancer/17_cervix_uteri.html)

問題2

図4は、公益財団法人日本対がん協会が、2025年に発表した年代別のHPVワクチン接種回数を表したものである。

- 1) HPVワクチン接種を接種したことがない割合が多い「年度生まれとその割合」、1回以上接種したことがある割合が多い「年度生まれとその割合」をそれぞれ第1位から第3位まで答えなさい。
- 2) また、この図から読み取れることを80字から100字で述べなさい。

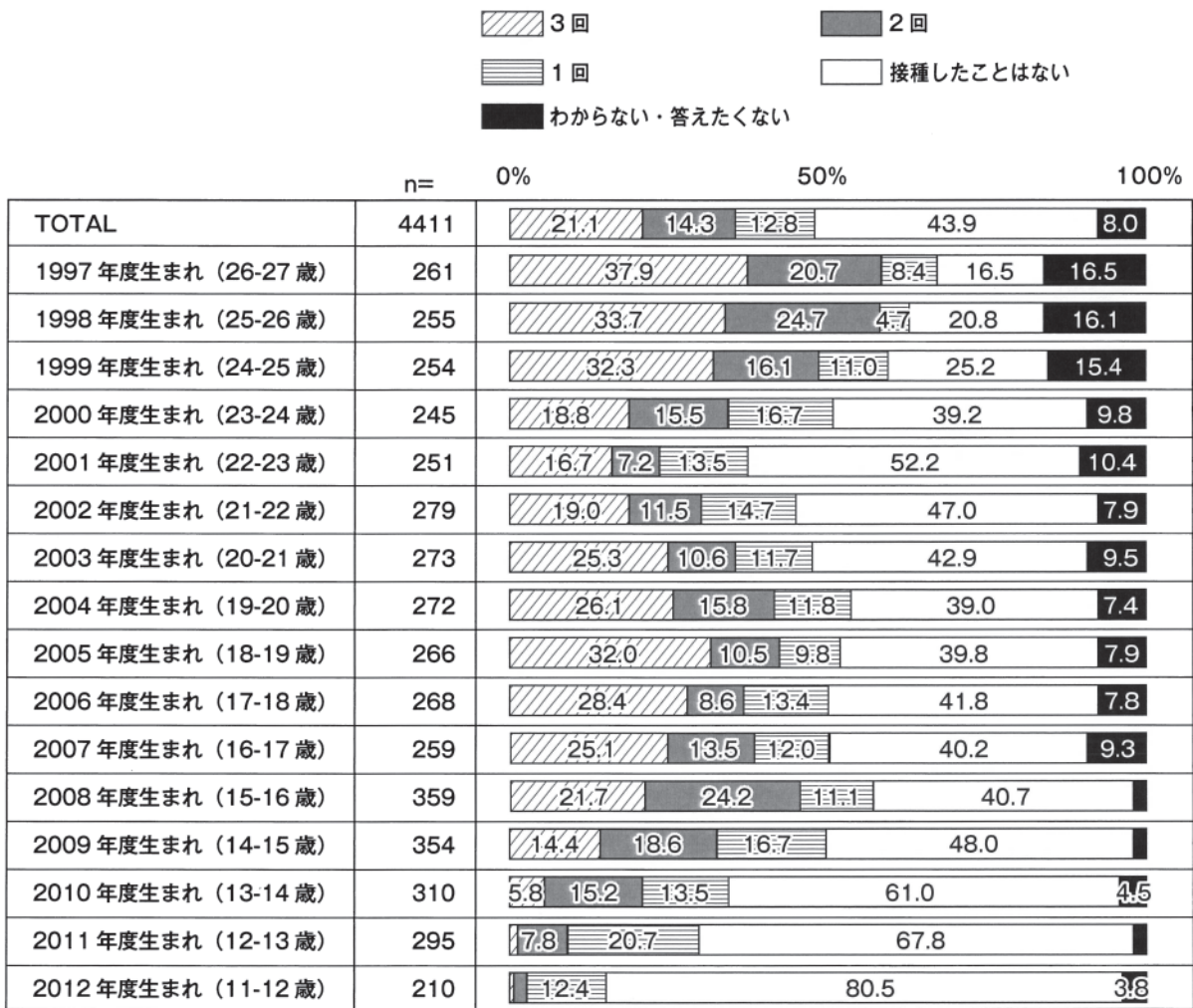


図4 HPVワクチン接種回数

出典：公益財団法人日本対がん協会 HPV ワクチンに関する調査報告 - 日本対がん協会

### 問題3

<課題文>を読んで、コミュニケーションについて内容を要約し、140字から160字で記述しなさい。

<課題文>

著作権の都合により掲載いたしません。

出典：ケイト・マーフィ、篠田真貴子（監訳）、松丸さとみ（訳）、LISTEN—知性豊かで創造力がある人になれる（pp.368-369）、日経BP、Kindle版。

#### 問題4

友人・家族・知人など周囲の人々とのコミュニケーションについて、あなたが普段から努力していることや心がけていることの具体的な行動と、その理由を220字から240字で記述しなさい。